

岩谷産業株式会社 第5期行動計画

岩谷産業㈱は多様な人財を適材適所に配置し、個の能力を最大限発揮させることが会社の持続的成長・発展のために不可欠であると考えている。

第1期～第3期行動計画においては、仕事と家庭の両立支援を目的として育児・介護に関する諸制度の整備を中心に実行し、第4期行動計画においてはそれらの制度浸透や、職場復帰支援を中心に実行してきた。第5期行動計画においては、これまでの支援策を軸としつつ、働き方改革により多様な働き方を推進し、性別を問わず育児や介護による制約を持つ全ての社員が最大限の能力を発揮できる職場環境づくりを目指し、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間

2018年4月1日から2021年3月31日までの3年間

2. 内 容

目標1. 男性社員の育児参画を促す風土醸成

<対策>

■2018年4月～

- ① 子女出生時に配偶者出産休暇や育児休業制度等の周知を男性社員本人及び上司に行う
- ② 管理職研修において育児関連制度に関する正しい理解を促進するための講義を実施

目標2. 業務効率化に向けた施策実施および柔軟な働き方を実現する施策の検討

<対策>

■2018年4月～

- ① 各種業務のワークフロー化（人事評価関連シートの電子化等）
- ② 電話応対業務効率化による生産性向上（オフィスリンクの段階的導入）
- ③ テレワークのトライアル実施

■2020年4月～

- ④ 時差勤務や在宅勤務等のトライアル実施による課題の洗い出し

目標3. 有給休暇の取得率向上

<対策>

■2018年4月～

- ① 期初目標設定面談時に、管理監督者が計画的な有給休暇取得に関する呼びかけを行う
- ② 部門ごとの有給休暇取得率の見える化

■2020年4月～

- ③ 「年次有給休暇取得計画表」を運用し、半期ごとに3日以上計画的な取得の呼びかけを行う（取得率30%以上）